

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 20年 12月 10日 午後 3時 30分から午後 5時 15分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、井出守雄委員、上野正司委員、柿島祐子委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝澤由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、曲尾行雄委員、松井幸夫委員、依田せつ子委員、依田則俊委員(欠席者 4名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、伊藤健康福祉課長、桜井建設課長、児玉教育事務所長、橋詰商工観光係長、児玉地域政策係長、掛川主事
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 20年 12月 16日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 報告事項
- ・福島県白河市東地域協議会視察・意見交換会について(小山副会長)
11月 25日(火)に福島県白河市東地域協議会委員 8人と東地域自治区長、担当職員計 11名が武石地域協議会を視察に訪れた。武石地域協議会からは正副会長、部会長計 4名と担当職員らが出席。
- 5 会議事項
- ・平成 21年度予算要求の概要について(各担当課から説明)
- 【質疑・意見】
- (委員)唐沢のアジサイ公園だが、駐車場からアジサイ公園への案内看板がないのでぜひ設置してほしい。
 - (委員)収集している資源物の中で、鉄などは金額が下がってきている。自治会資源物回収での自治会奨励金は来年度以降どうなるのか。
 - (市民生活課)現在もびんなどは処分量がかかっているが、自治会へは収集量により奨励金を支払っている。収集してお金にならないものでも、今まで同様自治会奨励金を支払っていく。
 - (委員)スポーツクラブは発足から 3年が経過し、来年も個人加入で 600人程度を見込んでいる。補助金は年々減らされているが、行政からのサポートを今後もお願いしたい。
 - (教育事務所)バックアップはするが、真田スポーツクラブはすでに一人歩きしている。教育事務所では事業費委託という形で協力していきたい。
 - (委員)合併浄化槽補助金は、以前県補助がカットされるという話があったが、その後どうなったか。県の補助金がなくなれば、市からの補助だけになり個人負担が増える。合併浄化槽設置の進捗状況や農集排の加入率などがわかれば教えてほしい。
 - (建設課)農集排の加入率は 80%程度。まだつなぎこみをしていない世帯については、戸々に自宅を回りお願いをしている。
 - (市民生活課)県補助については、まだどうなるか決まっていない。予算要求段階では、今までどおり県補助を見込んで要求しているが、年度途中で変わる可能性もある。合併浄化槽の設置率は正確には把握していないが、農集排が入っていない大布施巣栗では、世帯数 22戸中 13戸が合併浄化槽を設置している。

(委員)合併浄化槽は通年利用していないと設置しても意味がない。利用頻度が低い地区公民館や別荘では、汲み取り式の方がよい。行政できちんと指導してほしい。

(委員)道路新設改良事業費は合併特例債が主だが、小沢根線、上武石沖線の改良工事が終了したら、予算は半減してしまうのか。

(建設課)合併特例債の事業として当初あげたのは、小沢根線、上武石沖線である。二路線の工事終了後、他にやるべき路線があれば本庁担当課とつめていきたい。

(委員)有害鳥獣対策でシカ1頭あたり10000円となっているが、狩猟期間中は出さないということか。

(産業観光課)狩猟期間中の11月15日から2月15日までは出さない。この報奨金は、個人で何頭獲ったから支払うのではなく、猟友会へ獲った頭数に応じてお金を支払うというものである。

(委員)武石小学校の体育館の建設は決定しているのか。

(教育事務所)平成22年度建設が決定している。ただし、大きさなど詳細はまだ決まっていない。

(委員)児童館の図面はもうできているのか。できあがった図面に対して意見があった場合、変更はまだ可能なのか。

(教育事務所)現在、業者で作成している段階。変更の希望があった場合も多少ならできると思われる。

(委員)小沢根線の桜並木の伐採の話があったが、桜がなくなってしまったら寂しくなってしまう。また、桜の反対側にはレンゲツツジを植えてあるが、今年はまったく手入れされていない。

(建設課)小沢根線沿いのソメイヨシノは、ほとんどが天狗巣病にかかり花が咲かなくなってきている。その標高に合った樹種に変えていった方がよいと考えている。レンゲツツジについては、どこで管理していたのか調べ、対応を検討する。

(委員)松くい虫の薬剤樹幹注入は、健康な樹木にするとのことで大変な作業だと思うが、無人ヘリによる防除は来年度はやらないのか。

(産業観光課)無人ヘリでの防除を実施したいが、丸子地域で健康被害の報告もあり現段階での実施は難しいため、防除対策は樹幹注入へ移行していく予定。

・激変緩和実施事業の意見書について

6 その他

・平成21年度わがまち魅力アップ応援事業について

平成21年度の事業募集 平成21年1月19日～2月20日

平成21年3月の地域協議会で選考をお願いする予定

・その他意見

(委員)武石音頭・武石小唄を愛し保存する会では、郷土芸能を後世に伝えていこうと今まで賛助金で事業を行ってきたが、出演回数や小学校への指導も増え事業を行うための費用が足りなくなってきた。伝統芸能を継承していくための費用をぜひ地域予算でみていただければと思っている。

(委員)武石にはおねり保存会もある。伝統文化を守っていくための経費は、ある程度市でみていただきたいと思う。

(委員)市民憲章にも「歴史や伝統に学ぶ 文化の薫るまちをつくります」の一文があり、文化は継承していかなければいけない。

(事務局)ただいま委員さんから提案いただいた件は、2日ほど前に保存する会の会長が要望書を持ってきたが、来年度の予算はもう締め切ってしまったし、内容的にも不十分なところがある。組織立ったものとしていくなれば、1年なり時間をかけて内容を詰めてもらう必要がある。

7 閉会(小山副会長)